

# 2019年3月期 第3四半期決算説明会

2019年1月30日

株式会社SCREENホールディングス  
代表取締役 取締役社長 最高経営責任者 (CEO)

垣内 永次

## 資料取り扱い上の注意

- ・本資料および口頭にて提供する業績予想は、当社が発表日現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・本資料に記載しております数字につきましては、単位未満切り捨てで処理しております。比率は四捨五入しております。
- ・本資料では、例えば、「FY2019」と示す場合、2018年4月1日～2019年3月31日の会計期間を表します。

## 本日のポイント

- ✓ 3Q累計は、前年同期比、全社で増収減益
- ✓ SE 装置納入時期の変更、コスト改善活動の遅れによる変動費率の上昇などにより業績予想を下方修正（大幅な減益）
- ✓ SE、3Q受注は想定どおり600億円を越す高水準

# アジェンダ



1. FY2019 3Q 連結業績
2. FY2019 3Q セグメント別業績概況
3. 財務状況
4. FY2019 業績予想
5. 最近の取り組み

FY2019 3Q 連結業績 (前年同期比)

(億円)	FY2018						FY2019					
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	前年同期比	
売上高	729	808	703	2,241	1,152	3,393	725	975	823	2,524	282	12.6%
営業利益	73	95	68	237	189	427	51	100	36	188	▲49	▲20.6%
営業利益率	10.1%	11.8%	9.8%	10.6%	16.4%	12.6%	7.0%	10.3%	4.5%	7.5%	—	▲3.1pt
経常利益	75	89	65	230	183	413	51	101	33	186	▲43	▲18.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	51	55	43	150	134	285	35	60	5	101	▲48	▲32.6%

FY2019 3Q 連結業績 (前年同期比)

(億円)	FY2018						FY2019					
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	前年同期比	
売上高	729	808	703	2,241	1,152	3,393	725	975	823	2,524	282	12.6%
SE	465	532	455	1,453	818	2,271	471	657	582	1,711	258	17.8%
GA	108	139	118	366	168	534	114	124	115	354	▲12	▲3.3%
FT	129	99	91	320	132	452	103	150	100	354	34	10.8%
PE	23	33	34	92	29	121	32	39	20	92	▲0	▲0.4%
その他および調整	2	3	4	9	3	12	2	4	4	12	2	24.2%
営業利益	73	95	68	237	189	427	51	100	36	188	▲49	▲20.6%
営業利益率	10.1%	11.8%	9.8%	10.6%	16.4%	12.6%	7.0%	10.3%	4.5%	7.5%	-	▲3.1pt
SE	64	81	56	202	160	363	37	78	49	165	▲37	▲18.3%
GA	1	10	3	16	14	30	2	2	2	6	▲9	▲60.0%
FT	11	7	4	23	22	45	9	19	▲5	23	0	0.8%
PE	0	3	6	10	▲0	10	5	5	▲0	9	▲0	▲4.4%
その他および調整	▲4	▲7	▲2	▲14	▲8	▲22	▲3	▲4	▲8	▲16	▲1	-
経常利益	75	89	65	230	183	413	51	101	33	186	▲43	▲18.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	51	55	43	150	134	285	35	60	5	101	▲48	▲32.6%

SE：半導体製造装置事業

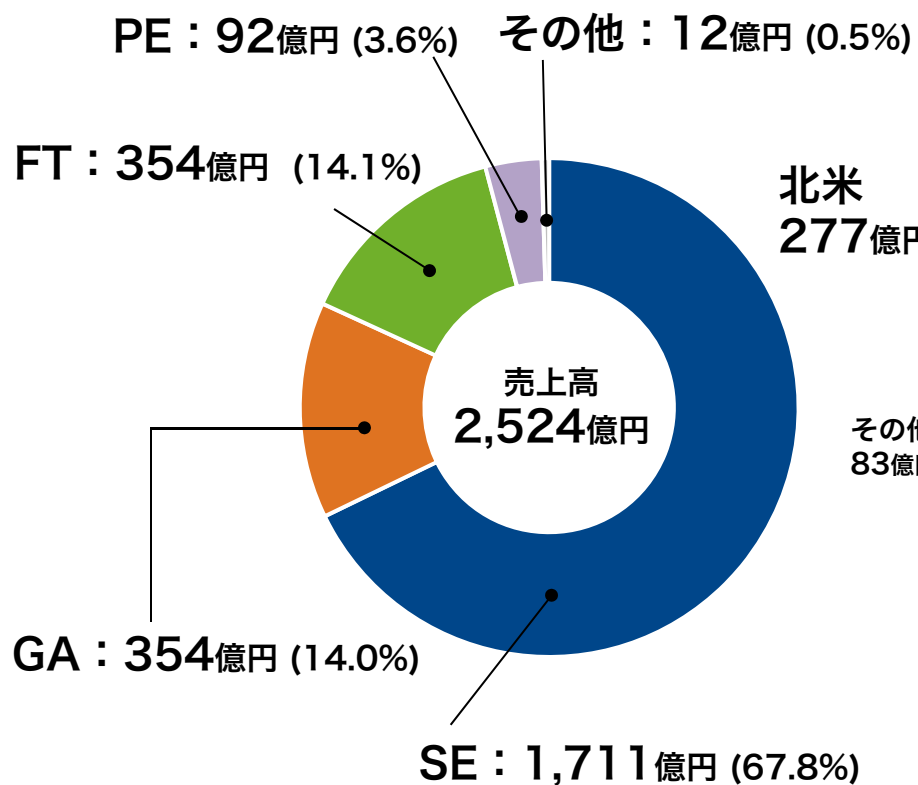
FT：ディスプレイ製造装置および成膜装置事業

GA：グラフィックアーツ機器事業

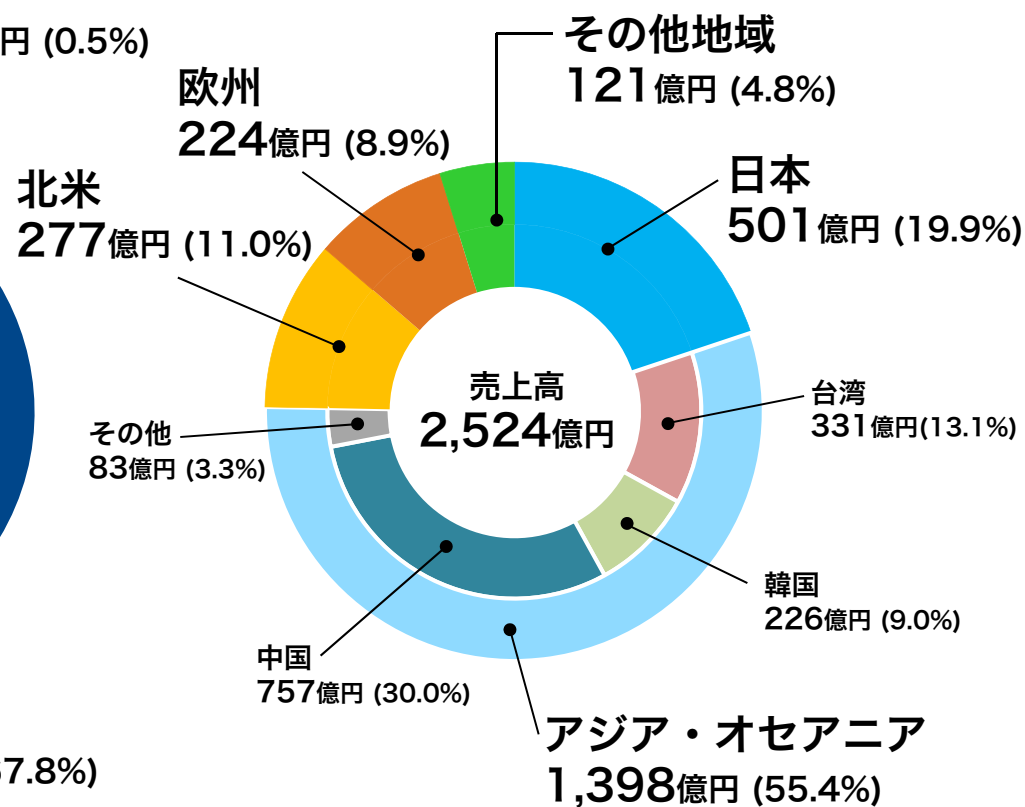
PE：プリント基板関連機器事業

FY2019 3Q累計 連結業績

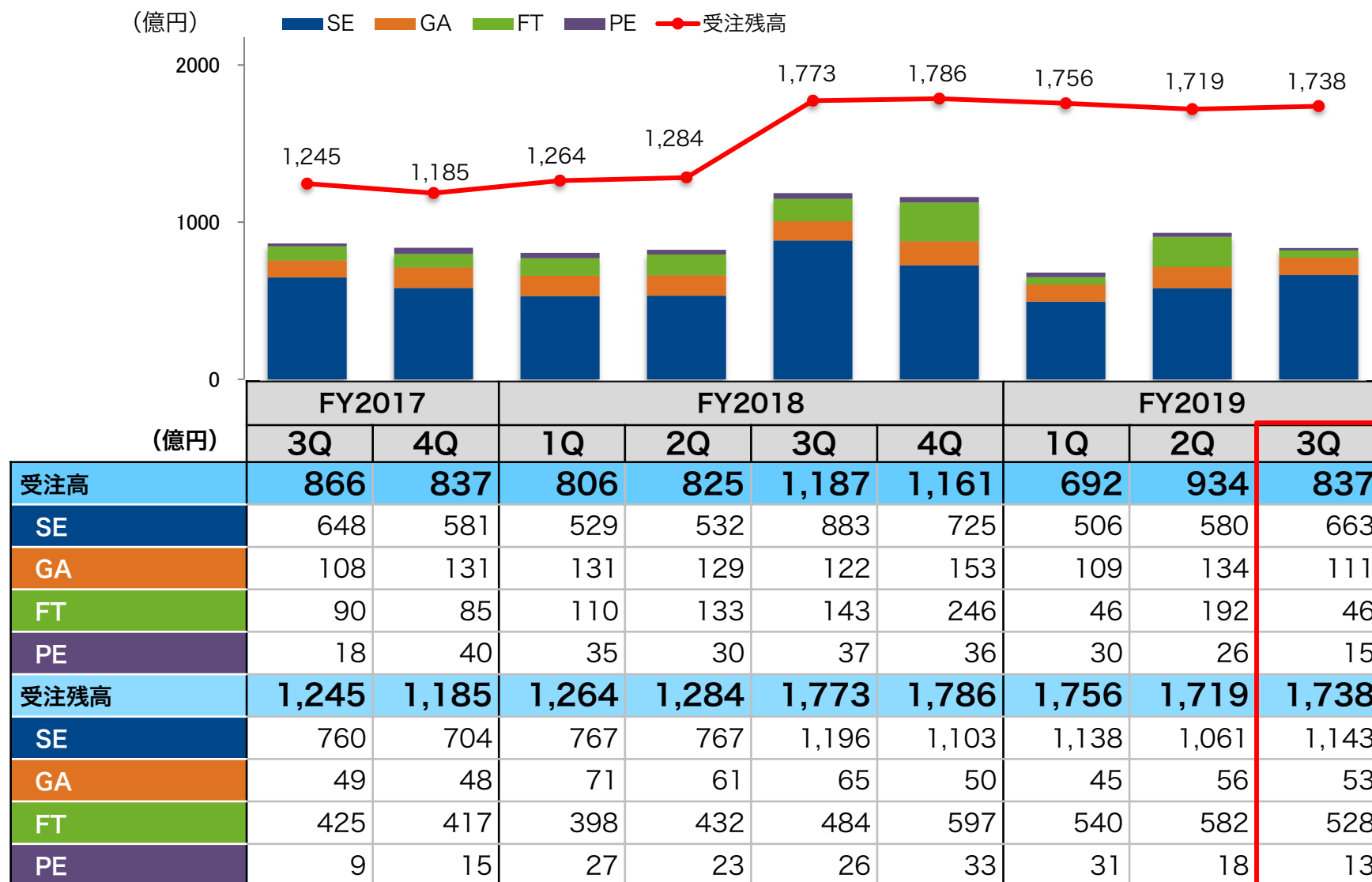
■セグメント別売上高



■地域別売上高



連結受注高/受注残高の四半期推移



## セグメント別業績概況&lt;SEセグメント&gt;

前年同期比 (億円)	FY2018	FY2019	増減	
	3Q累計	3Q累計		
売上高	1,453	1,711	258	17.8%
営業利益 営業利益率	202 13.9%	165 9.7%	▲37 ▲4.3pt	▲18.3%

前四半期比 (億円)	FY2019	FY2019	増減	
	2Q	3Q		
売上高	657	582	▲74	▲11.4%
営業利益 営業利益率	78 12.0%	49 8.4%	▲29 ▲3.5pt	▲37.4%

## 概況

- ・3Q累計、前年同期比、ファウンドリー向けは減少するもメモリー向けが増加、ロジックは堅調に推移して増収。ただし、営業利益に関しては、上期の自然災害などに起因する減益に加え、3Qも変動費率の上昇や、売上拡大に伴う人件費等の固定費増加などもあり、減益となった

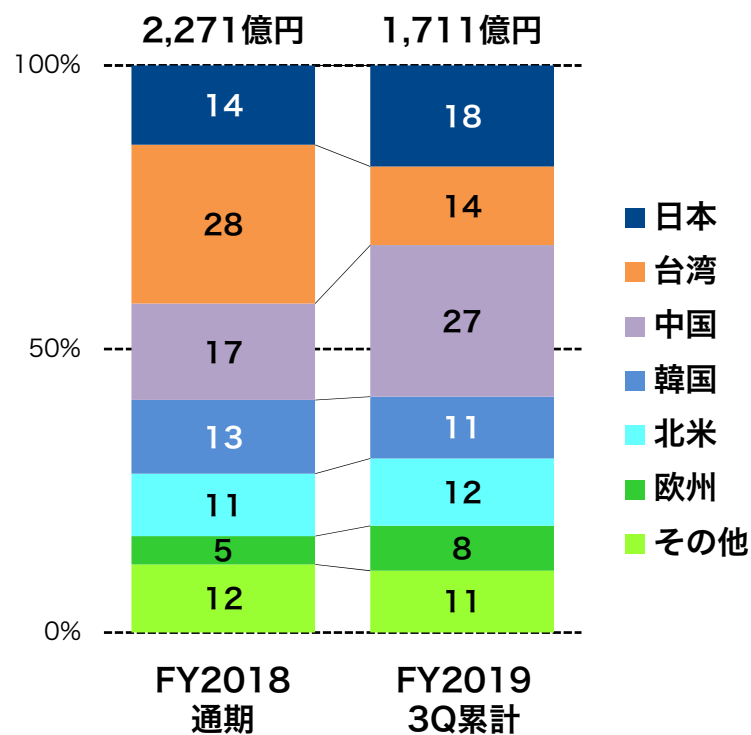


## SE市場見通しと取り組み

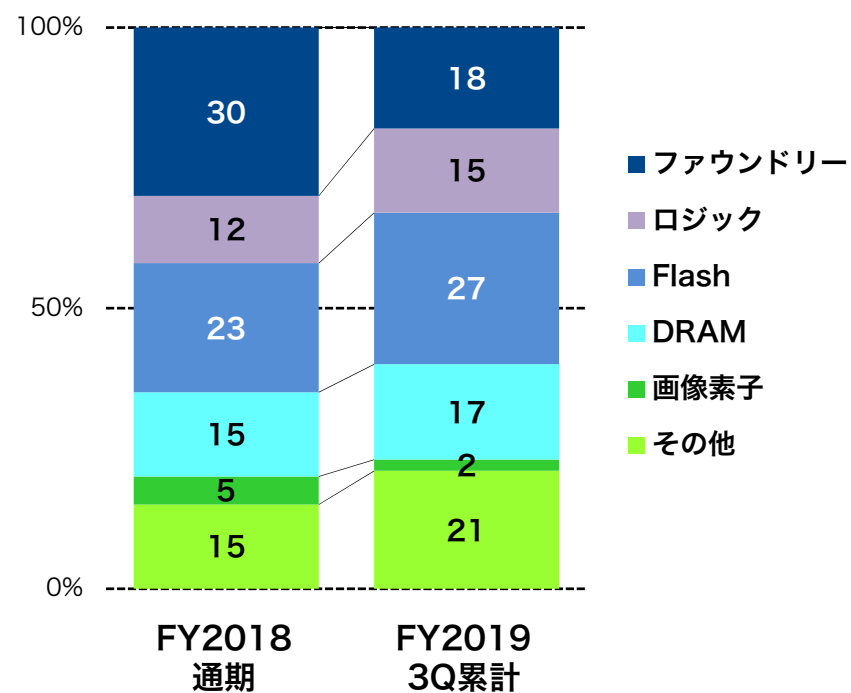
- ✓ **CY2019のWFEはメモリー投資抑制の影響によりCY2018比▲15~20%程度、\$40bn半ばを想定**  
(中長期の成長基調の見方には変更なし)
- ✓ **メモリー：調整局面、2019年後半からの投資回復を見込む**  
→投資再開のタイミングを捉え、タイムリーな装置納入を目指す
- ✓ **ファウンドリー：微細化投資の継続**  
→最先端のプロセス要求に応える装置群の提案、提供
- ✓ **ロジック：堅調な量産投資**  
→既存の量産投資に加え、次世代ノードの微細化投資へのサポート
- ✓ **IoT投資は好調継続**  
→車載向けやパワー系半導体(SiC、GaN)、MEMS、センサー向け引き合い拡大
- ✓ **中国新興メモリーメーカーの2次投資はいまだ不透明**  
→米中貿易摩擦の影響を注視

連結・地域別売上高比率／単独・アプリケーション（デバイス）別売上高比率

■地域別（仕向地ベース）

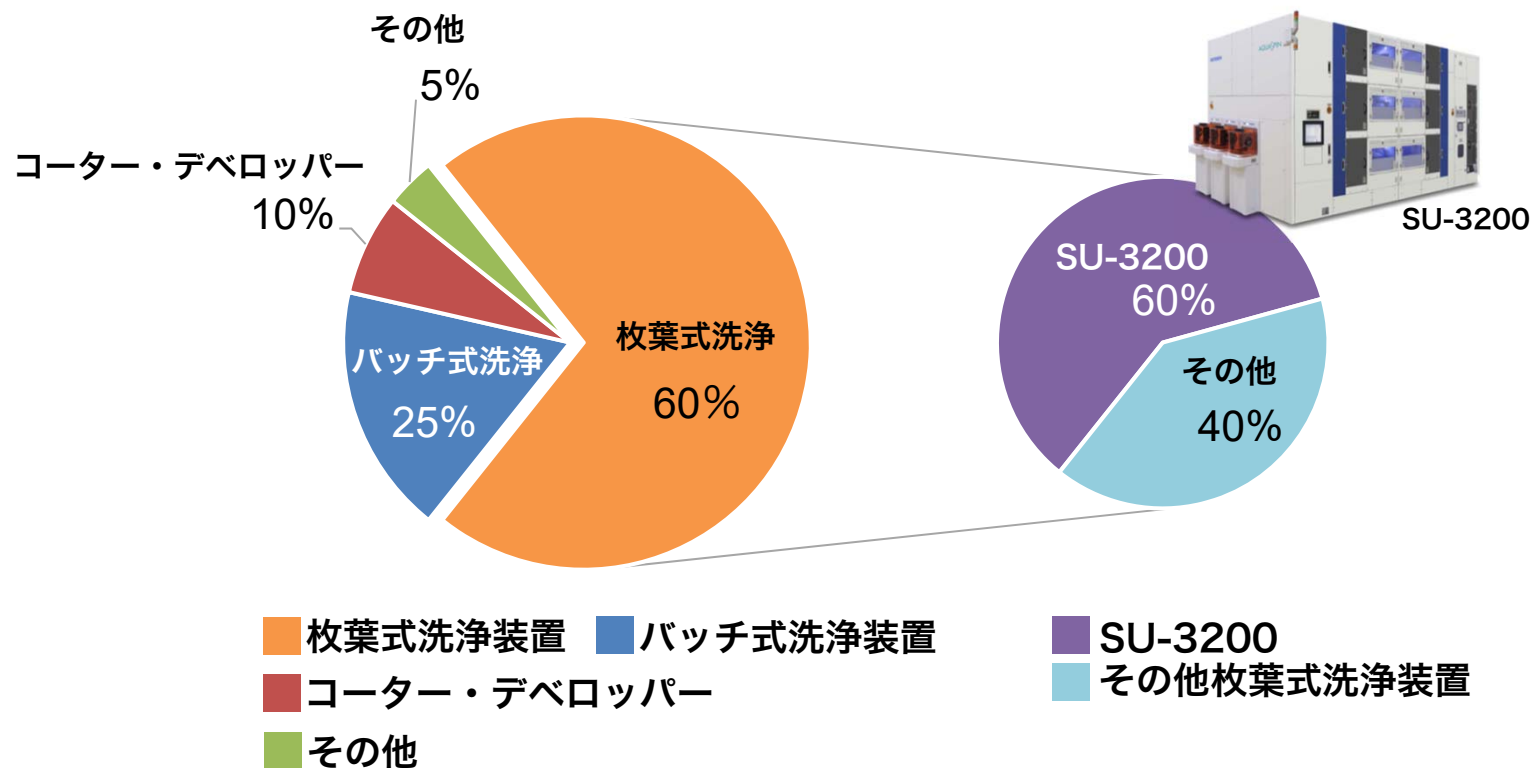


■アプリケーション(デバイス)別



単独・売上高比率

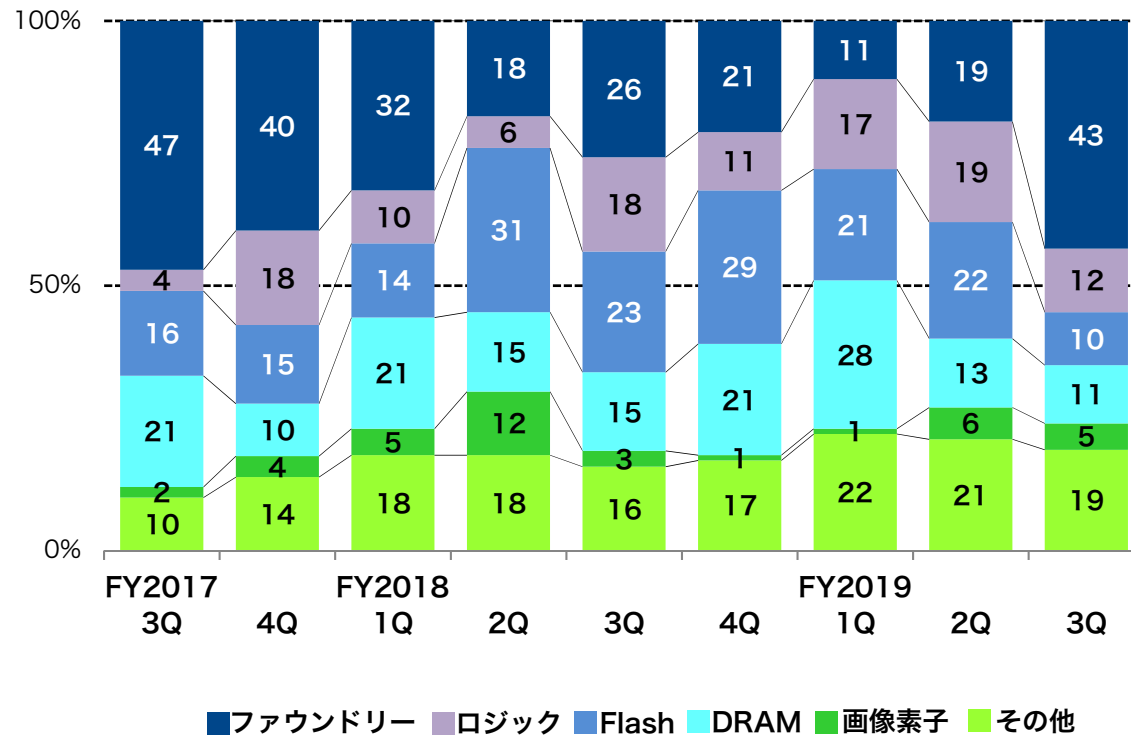
■洗浄装置 製品別売上高比率 (FY2019 3Q累計)



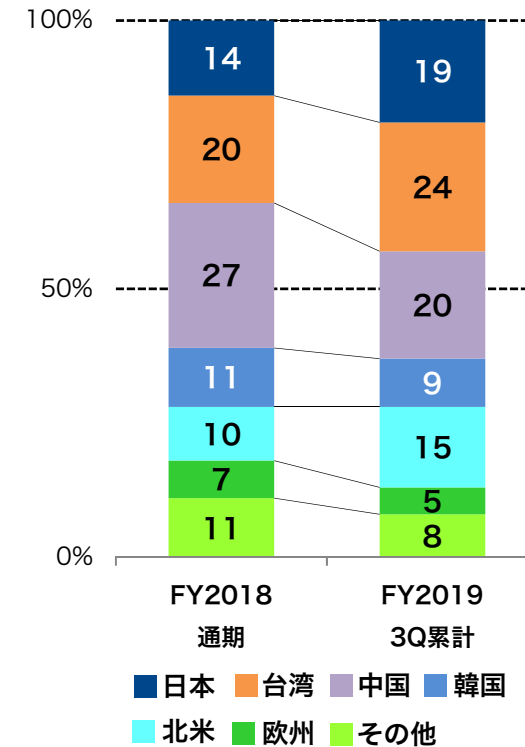
※上記比率は、5%刻みの「約」表記

単独・受注高比率

■アプリケーション（デバイス）別・四半期推移



■地域別



- ・メモリーが大きく減少し、ロジックもやや減少するも、ファウンドリーが大きく伸長
- ・2Q比83億円増の663億円を受注

## セグメント別業績概況 &lt;GAセグメント&gt;

前年同期比 (億円)	FY2018	FY2019	増減	
	3Q累計	3Q累計		
売上高	366	354	▲12	▲3.3%
営業利益 営業利益率	16 4.5%	6 1.9%	▲9 ▲2.6pt	▲60.0%

前四半期比 (億円)	FY2019	FY2019	増減	
	2Q	3Q		
売上高	124	115	▲8	▲7.2%
営業利益 営業利益率	2 1.7%	2 1.8%	▲0 0.1pt	▲3.3%

## 概況

- ・ 3Q累計、前年同期比、PODの海外・直販ルート売上、および、インクなどのポストセールスの売上が増加した一方で、国内販売（CTP、および、PODのOEM）が減少し、減収減益
- ・ 今後、PODの直販ルート売上とインクの販売強化を図る他、事業構造改善を実施（特別損失を計上）。収益改善を急ぐ

## セグメント別業績概況 &lt;FTセグメント&gt;

前年同期比 (億円)	FY2018	FY2019	増減	
	3Q累計	3Q累計		
売上高	320	354	34	10.8%
営業利益 営業利益率	23 7.3%	23 6.6%	0 ▲0.7pt	0.8%

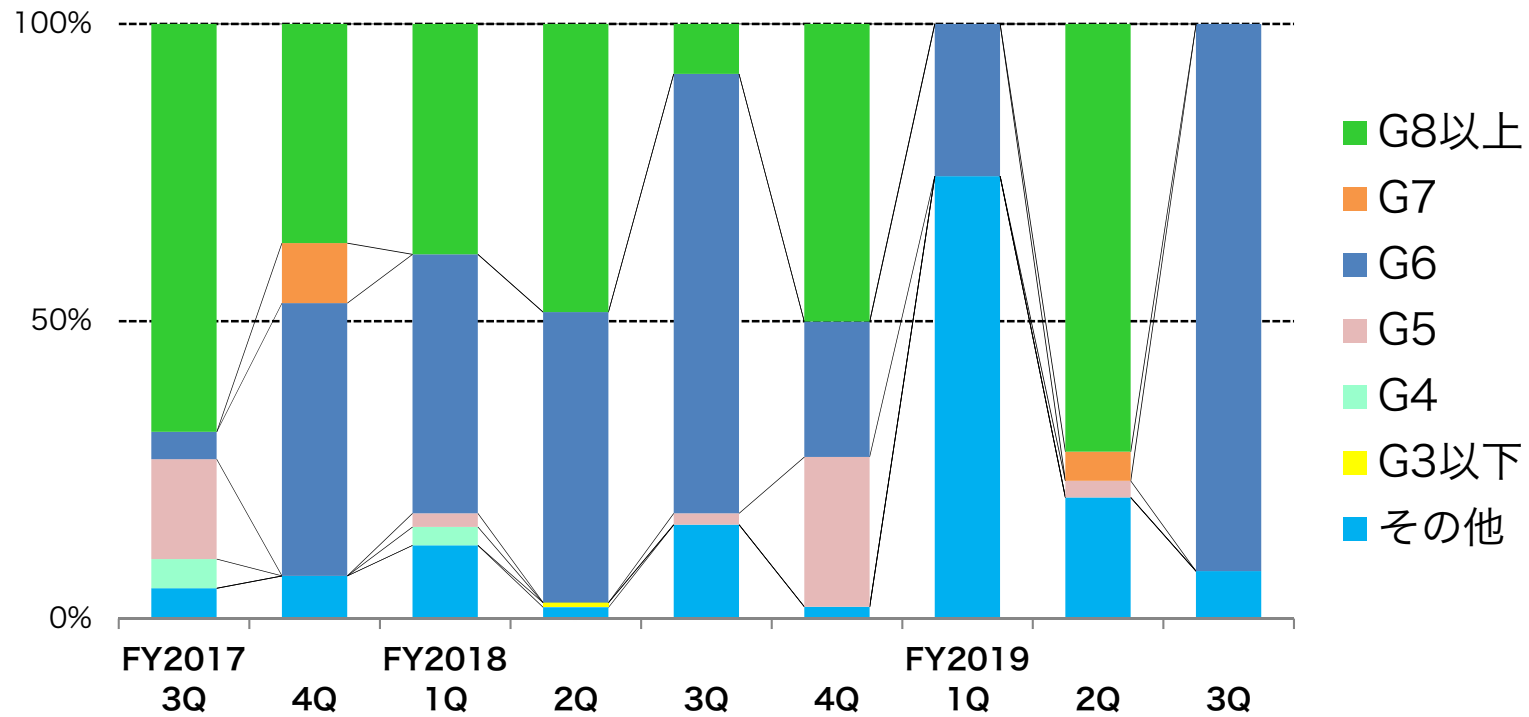
前四半期比 (億円)	FY2019	FY2019	増減	
	2Q	3Q		
売上高	150	100	▲49	▲33.2%
営業利益 営業利益率	19 12.9%	▲5 ▲5.0%	▲24 ▲18.0pt	▲126.0%

## 概況

- ・ 3Q累計、前年同期比、大型用は減少したものの、中小型用（中国向けOLED）が増加して増収。一方、たな卸資産評価損の引当などにより収益性は低下
- ・ 今後、LiB関連を中心とする新規事業（成膜事業関連）の売上増加を見込む

単独・受注高比率

■製品サイズ別・四半期推移



- ・ 3Qの連結・受注高（46億円）は、中小型用（OLED関連）中心
- ・ 今後、大型LCD、OLED、新規事業などの受注を見込む

## セグメント別業績概況 &lt;PEセグメント&gt;

前年同期比 (億円)	FY2018	FY2019	増減	
	3Q累計	3Q累計		
売上高	92	92	▲0	▲0.4%
営業利益 営業利益率	10 11.0%	9 10.6%	▲0 ▲0.4pt	▲4.4%

前四半期比 (億円)	FY2019	FY2019	増減	
	2Q	3Q		
売上高	39	20	▲18	▲48.0%
営業利益 営業利益率	5 13.6%	▲0 ▲4.6%	▲6 ▲18.2pt	▲117.5%

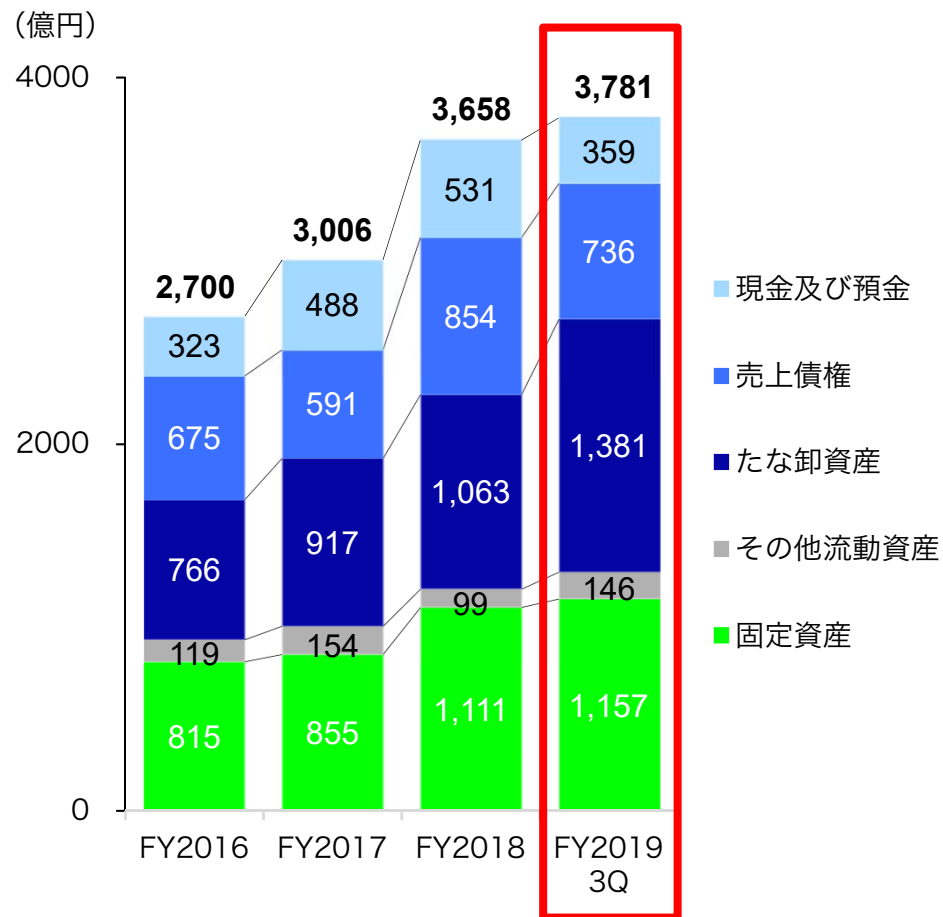
## 概況

- ・ 3Q累計、前年同期比、ほぼ前期並み。ただし、3Qでは、スマートフォン関連投資減速の影響を受け、前四半期比で大幅な減収減益
- ・ 来期に向け、車載や5G向け投資が活発化する見込み。車載向けは既に引き合いも旺盛

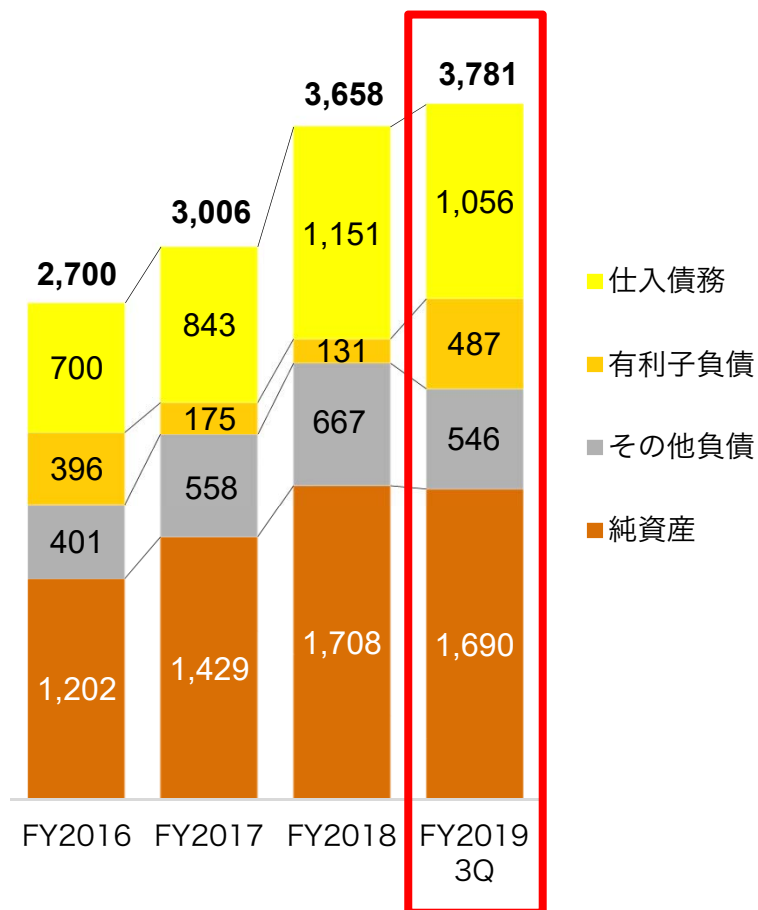


連結貸借対照表

資産



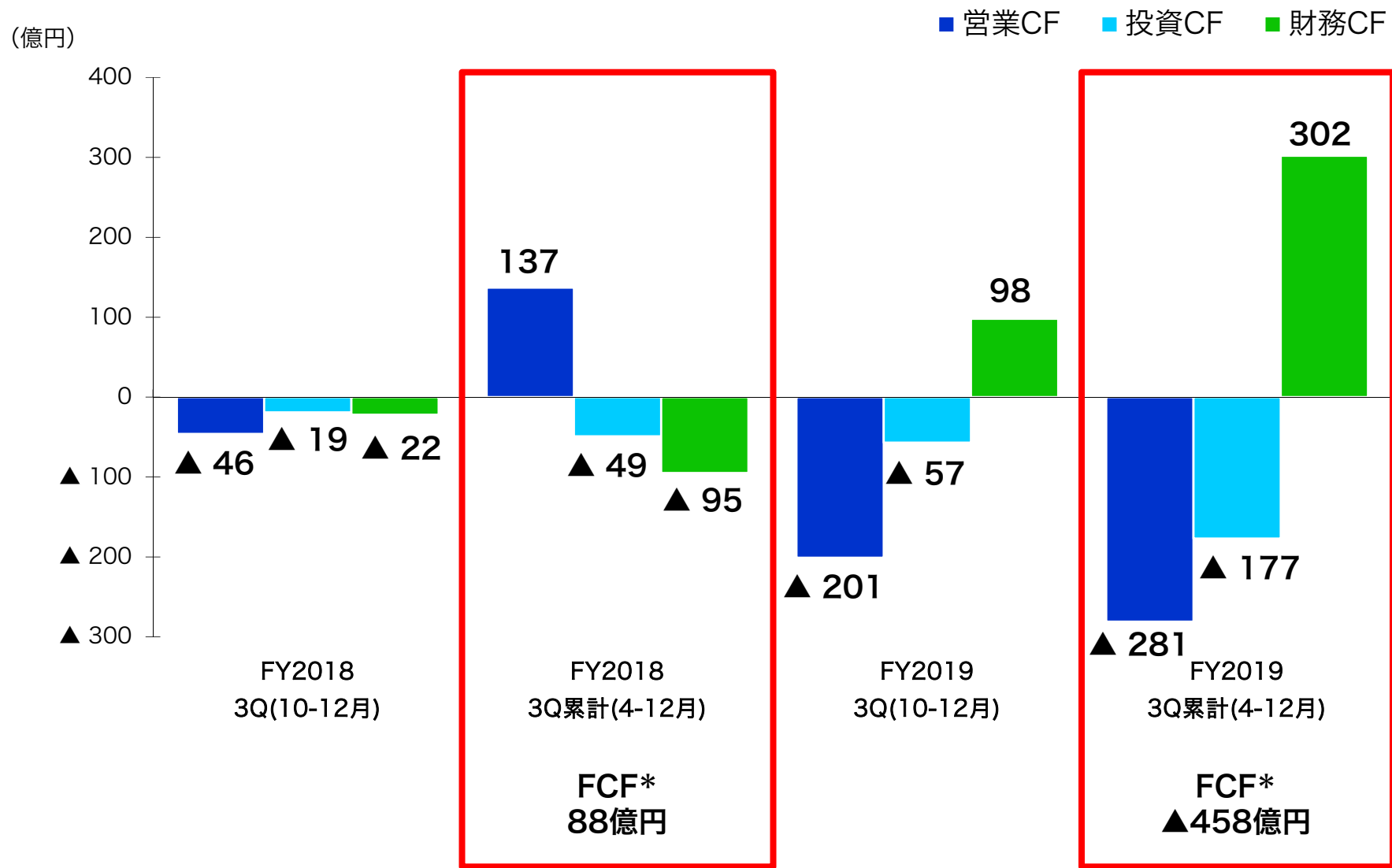
負債および純資産



自己資本比率 46.7% (FY2018 4Q) → 44.7% (FY2019 3Q)

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を第1四半期連結会計期間(FY2019 1Q)の期首から適用しており、前連結会計年度(FY2018)の実績については当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しています。

連結キャッシュ・フロー



\* FCF：フリーキャッシュ・フロー

FY2019 業績予想

\*セグメント別営業利益予想：5億円刻みの「約」表記

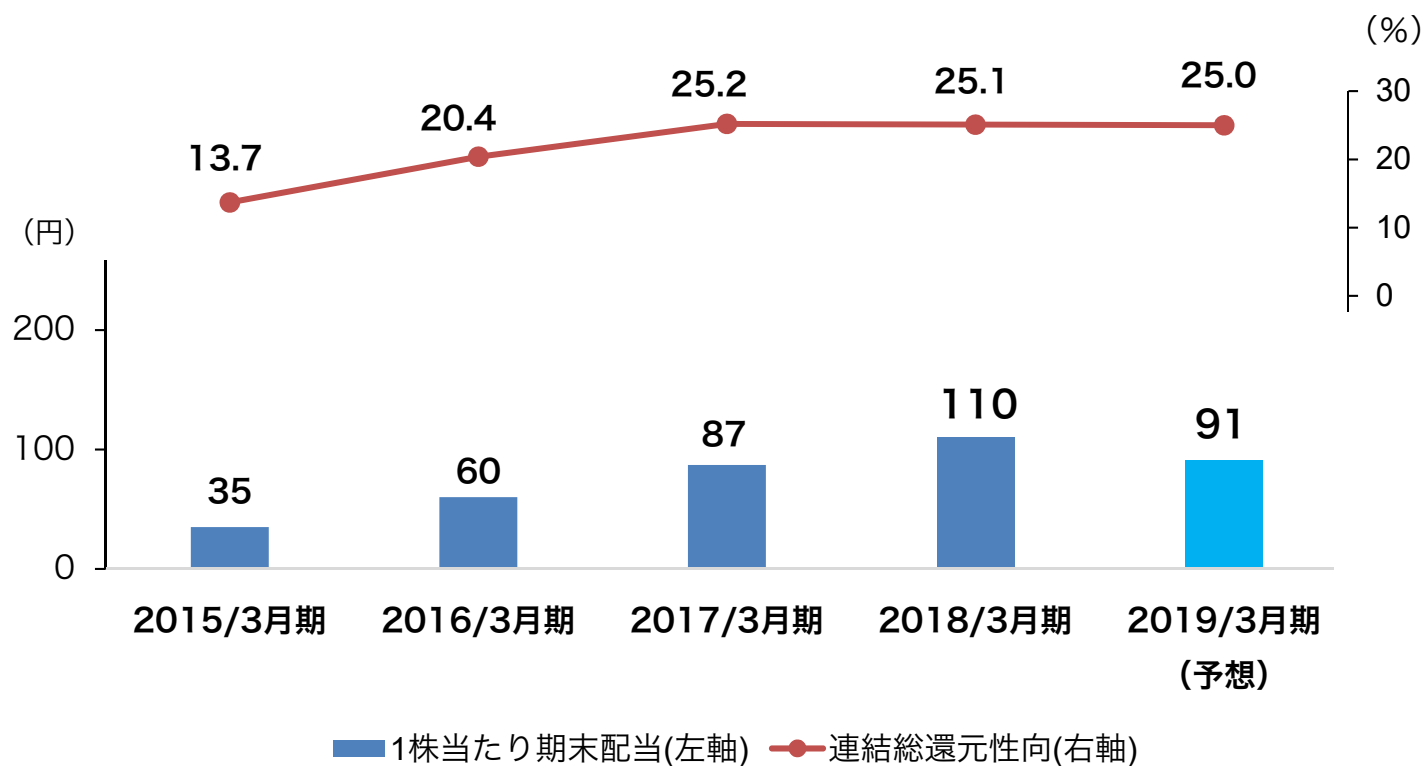
(億円)	FY2018 通期実績	FY2019				
		上期	下期		通期	
		実績	10月発表	1月予想	10月発表	1月予想
<b>売上高</b>	3,393	1,700	2,039	1,919	3,740	3,620
SE	2,271	1,128	1,471	1,371	2,600	2,500
GA	534	238	241	241	480	480
FT	452	254	245	241	500	495
PE	121	71	58	53	130	125
その他	12	7	22	12	30	20
<b>営業利益</b>	427	151	283	138	435	290
営業利益率	12.6%	8.9%	13.9%	7.2%	11.6%	8.0%
SE	363	116	270*	140*	390*	255*
GA	30	4	5*	5*	10*	10*
FT	45	28	20*	10*	50*	40*
PE	10	10	5*	0*	15*	10*
その他	▲22	▲7	▲20*	▲20*	▲30*	▲25*
<b>経常利益</b>	413	153	267	127	420	280
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	285	95	209	74	305	170

注) 4Qの想定為替レート>> 1USドル=110円、1ユーロ=125円

期末配当予想>> 91円

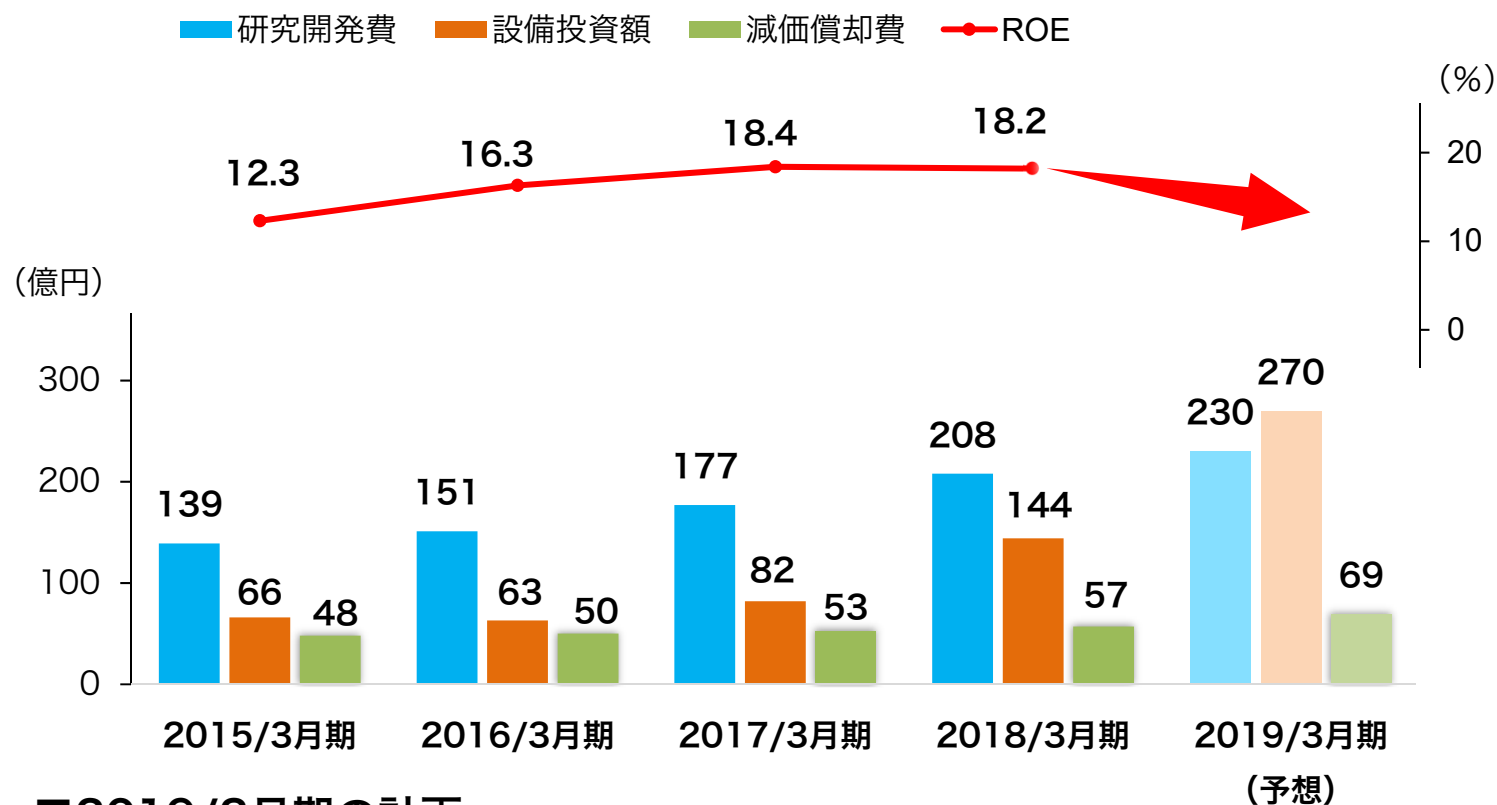
## ▶▶ 連結総還元性向：25%以上を目指す

■2019/3月期の業績予想下方修正を踏まえ、1株当たりの配当は91円を予想



注) 上記配当数値は、2016年10月1日付で実施した株式併合（5株を1株に）後の基準で換算

## 成長投資とROE



### ■2019/3月期の計画

- ・研究開発費：次世代技術向け
- ・設備投資額：SE/FT・生産能力拡大（生産効率強化）、IT投資

## 最近の取り組み

## HD

- CDP2018スコア Climate Change: B (前年C) / Water: B<sup>-</sup> (前年B)
- 深層学習を使用した細胞画像解析ソフトウェアを開発
- 車載用部品向け自動外観検査装置の名称を「Lulimo」として展開
- 平成30年度近畿地方発明表彰「特許庁長官賞」を受賞

## SE

- 半導体製造装置の新たな生産工場（S<sup>3</sup>：エス・キューブ）が完成
- 2月1日付、取締役、執行役員の変動、委嘱業務の変更
- 台湾・TSMC社から「Excellent performance賞（ウエット洗浄装置部門）」を受賞
- 滋賀大学とデータサイエンス分野における連携・協力協定を締結

## GA

- Monotype社と、ヒラギノフォントの海外販売における業務提携に合意
- 一般社団法人 日本印刷産業連合会から、「2018 GP資機材環境大賞・機材部門」を受賞

## FT

- ディ스플레이製造装置および成膜装置の新たな生産工場（CS-2：シーエスツー）が完成

## ESG関連の取り組み



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

当社グループは、国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」を当社の企業理念にも通ずる目標だと捉えています。そのため、17のゴールのうち特に以下の6つの重点課題に積極的に取り組み、全人類が平和で豊かに暮らせる社会を目指し、地球規模で持続的に成長することに貢献します。

## &gt;&gt;6つの重点課題



## 改訂コーポレートガバナンス・コード対応 コーポレートガバナンス報告書の開示（2018年12月21日）

- **政策保有株式**  
→縮減に対する方針・考え方を開示
- **企業年金のアセットオーナーとしての機能発揮**  
→新たに「年金資産運用委員会」を設置
- **社長・CEOの後継者計画、経営陣幹部の選解任手続きの策定**

## ■ご参考>> 主要数値の変遷

(億円)	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019 (予想)
売上高	2,376	2,596	3,002	3,393	3,620
営業利益	171	235	337	427	290
営業利益率(%)	7.2	9.1	11.2	12.6	8.0
総資産	2,495	2,700	3,006	3,658	—
自己資本	1,108	1,196	1,428	1,708	—
自己資本比率(%)	44.4	44.3	47.5	46.7	—
ROE(%)	12.3	16.3	18.4	18.2	—
減価償却費	48	50	53	57	69
設備投資額	66	63	82	144	270
研究開発費	139	151	177	208	230
EPS(円)	255.35	396.75	511.96	608.62	364.39



**SCREEN**